

第53回日本毒性学会学術年会（JSOT 2026）サテライト企画

# Young Toxicologist Academy (YTA 2026)

—毒性学の実務と研究をつなぐ若手・学生フォーラム—



JSOT所属産官学若手  
キャリアパスの実際とは？

大学での研究経験は  
各職務でどう役に立つ？

企業・大学・官公庁...  
“毒性”の定義は同じ？

広がる 日本毒性学会 産・官・学 若手ネットワーク

2026.6.30 Tue.  
13:30~16:00  
(学術年会第0日目)

グランキューブ大阪  
10階 1008  
(学術年会第4会場)

参加費  
無料

参加登録  
はこちら  
(Google form)



<https://forms.gle/Rn6dxiiisf9yL8mjm9>

主催: YTA2026実行委員会

武田一貴(北里大学、東京科学大学) 吉沢佑基(住友ファーマ) 藤澤希望(中外製薬) 横田理(国立医薬品食品衛生研究所)  
柳田翔太(国立医薬品食品衛生研究所) 齋藤文代(岡山理科大学) 藤代瞳(徳島文理大学)

連絡窓口: [takeda@vmas.kitsato-u.ac.jp](mailto:takeda@vmas.kitsato-u.ac.jp) (北里大学獣医学部毒性学研究室 武田)

**JSOT 第 53 回学術年会サテライト企画**  
**Young Toxicologist Academy 2026**  
— 毒性学の実務と研究をつなぐ若手・学生フォーラム —

本企画（Young Toxicologist Academy; YTA）は、毒性学分野における若手人材育成と産官学連携の促進を目的とした参加型フォーラムです。JSOT 所属の産官学の若手研究者が各自の職務（研究に加え、審査・安全性評価など）の実際、意思決定の判断軸、学生時代の研究経験が活かした点／新たに必要だった能力などを具体例ベースで共有し、産官学の参加者が集う JSOT の強みを活かした若手ネットワーク形成・学生支援を目指します。

各登壇者のフラッシュトーク発表の後、参加者が一定時間ごとにローテーションするラウンドテーブルトークで直接質疑・議論を行います。産官学の職務の実際を少人数でフランクに議論できる構成です。YTA への参加により、キャリアパスに悩んでいる学生および様々な立場にいる若手研究者にとって有意義な知見の獲得や、分野を超えたネットワーク形成を目指し、この先の毒性学について考える場を提供できればと考えております。

本企画は年会第 1 日目午後のワークショップ「産官学若手研究者をつなぐキャリアの橋 —学生だった私、研究者になった私—」と相補的な企画です。YTA で得た気づきや疑問を持ってワークショップでの発表を聞くことで、提示される多様なキャリア事例の理解をいっそう具体化することを目指します。

諸先生方におかれましては、貴所属学生・若手の皆様へ積極的にご案内いただけますと幸いです。

**日時** 2026 年 6 月 30 日（火）（年会 0 日目） 13:30-16:00（13:00 開場）

**会場** グランキューブ大阪 1008（年会第 4 会場）

**参加費** 若手研究者・学生ともに無料

**対象者** 毒性学分野の“自称”若手研究者（具体的な年齢制限はありません、学術年会非参加者も参加可能）

**参加様式** ①フラッシュトーク発表+ラウンドテーブルトーク ②ラウンドテーブルトークのみ（フラッシュトーク聴講）

**参加登録フォーム** <https://forms.gle/Rn6dxiisf9yL8mjm9>

**参加登録締切** 参加登録フォーム内に記載

### 式次第（予定）

13:00-13:30 受付

13:30-13:40 開会（趣旨説明・進行案内）

13:40-14:10 若手研究者フラッシュトーク発表

14:10-14:20 小休止

14:20-15:50 ラウンドテーブルトーク

15:50-16:00 閉会

※登壇者数・卓数等により進行は一部調整する場合があります

### フラッシュトークプレゼンテーション（13:40-14:10）の概要

本セッションでは、産官学の若手研究者が短時間の研究発表（フラッシュトーク）を行います。ラウンドテーブルに先立ち、議論を行いやすいよう、登壇者の背景（学生時代の研究）と現在の研究/職務の接続点を簡潔に共有することを目的とします。学生にとっては多様な進路・業務像を具体的に把握する機会となり、若手研究者にとっても産官学違う立場での議論に発展する契機となります。

### 内容例

- ・所属、キャリア概要
- ・学生時代の研究テーマの概略
- ・現在の職務・研究内容の概略
- ・学生時代の研究と現在の職務の連関・ギャップ等

## ラウンドテーブルトーク（14:20-15:50）の概要

本セッションでは、参加者とフラッシュトーク登壇者がいくつかのトピックに対し、少人数でフランクな形式での議論を行います。参加者は一定時間ごとに卓を移動（ローテーション）し、短時間で複数の登壇者と議論できる形式とします。発表のみでは得にくい産官学の職務の実際やキャリア形成に関する具体的な情報を、双方向に共有し、学生・若手双方が議論に参加できる場とします。

### 進行（予定）

- ・ 14:20-15:50 の枠内を複数ラウンドに分割し、ラウンドごとに参加者が移動します。
- ・ ラウンドの回数・1ラウンドの時間は、参加人数および卓数に応じて当日調整・案内します。

### 主な議論テーマ（予定）

#### 【①産官学の職務について】

- ・ 自分自身の職務（研究テーマ）共有
- ・ 産官学（学生）の立場での職務に対する質疑・議論

#### 【②意思決定】

- ・ 実験データをどう解釈する？
- ・ 産官学で“安全”の定義はどう違う？

#### 【③若手のキャリア戦略】

- ・ 専門性の軸はどう作った？守った？変えた？
- ・ 就活時の想定と職務の実際のギャップはあった？

### 事前質問の活用

参加登録時に寄せられた質問は、当日の議論を円滑にするため、運営側で整理のうえ導入として活用します。当日は事前質問に限らず、自由に質疑いただけます。

### 留意事項

- ・ 円滑な議論のため、録音・録画等のご遠慮いただく方針です（詳細は当日案内します）。
- ・ 守秘義務および個人情報に関わる内容には十分配慮し差し支えない範囲での情報共有をお願いします。

## YTA 2026 実行委員会

武田 一貴（北里大学、東京科学大学）

吉沢 佑基（住友ファーマ）

藤澤 希望（中外製薬）

横田 理（国立医薬品食品衛生研究所）

柳田 翔太（国立医薬品食品衛生研究所）

齋藤 文代（岡山理科大学）

藤代 瞳（徳島文理大学）

## YTA 2026 オブザーバー

第18代日本毒性学会理事長 広瀬 明彦

第53回日本毒性学会学術年会年会長 宮脇 出

第54回日本毒性学会学術年会年会長 安西 尚彦

第55回日本毒性学会学術年会年会長 角崎 英志

## YTA 2026 協賛

第53回日本毒性学会学術年会